

報道関係各位
14-2013

2008年11月6日
株式会社ネクスト

住宅・不動産情報ポータルサイト「HOME'S」調査報告
**高齢者施設選びの際に重視する月額費用、
意識と実態には5万円程度の差が存在！**
～ 高齢者施設探しに関する実態調査(後編)～

住宅・不動産情報ポータルサイト「HOME'S」、及び老人ホーム検索サイト「HOME'S介護」を運営する株式会社ネクスト(本社:東京都中央区、代表取締役社長:井上高志、東証マザーズ:2120)は、現在高齢者施設に入居中または入居検討中の人(親族または本人)を対象に、「高齢者施設探しに関する実態調査」を実施いたしました。



【HOME'S リサーチ】
“高齢者施設探しに関する実態調査(後編)”

<http://homesclub.next-group.jp/research/research/2008/20081106.php>

< 調査概要 >

調査対象: 現在高齢者施設に入居中または入居検討中の人(親族または本人)

調査手法: インターネット調査

有効回答数: 1,000人(現在入居中500人、現在検討中500人)

調査時期: 2008年06月24日(火)～2008年06月29日(日)

< 主な調査結果 >

1. ネットで情報収集後、有料老人ホーム入居者は9割以上が施設へ問い合わせ

必要に迫られてのことか、現在入居施設を検討している人よりも既に入居している人のほうが施設へのアプローチは積極的で、問い合わせ方法は「直接訪問」「電話での問い合わせ」がメイン。介護付有料老人ホーム(以下、<有料老人ホーム>)の入居者ではネットで情報収集した後9割以上が施設への問い合わせを行っており、「メールで資料請求」も4割に迫っています。入居施設を決定するまでの行動について、8割前後の人が資料請求を実施しており、問い合わせ施設数の平均は3施設。一方、体験入居は1施設を行うかどうかで、「資料請求」や「施設見学」に比べと低く、既に入居している人でも5割以上は体験入居を行わずに施設の決定を行っているのが現状のようです。

2. 施設選びは“サービス内容”よりもまずは“費用”

高齢者施設の重視点は、“サービス内容”よりも“費用面”に対する回答が多い。現在<有料老人ホーム>に入居している人の入居一時金は検討中の人と大きな差は無く、「1～100万円」の回答が最も多い一方、「1,000万円以上」も1割を超えるなど金額幅が広いことがわかりました。一方、月額費用は、<有料老人ホーム>に既に入居している人の費用は「15～20万円」「20～25万円」の回答が多いのに対して、検討中の方は「10～15万円」「15～20万円」の回答が多く、費用感として5万円程の差がみられました。アンケート参加の親族回答者に、“高齢者施設と現在のお住まいがどれくらい離れているか”を質問したところ、7割以上の方が「電車・バス・車などで1時間以内」、うち5割以上の方は「電車・バス・車などで30分以内」と回答、また検討している人の回答も同傾向で、多くの人が狭域で利用できる高齢者施設・住宅を探していることがわかります。

特別コラム: 社内初 新規事業提案制度から生まれた「HOME'S介護」に込めた思い(P7)

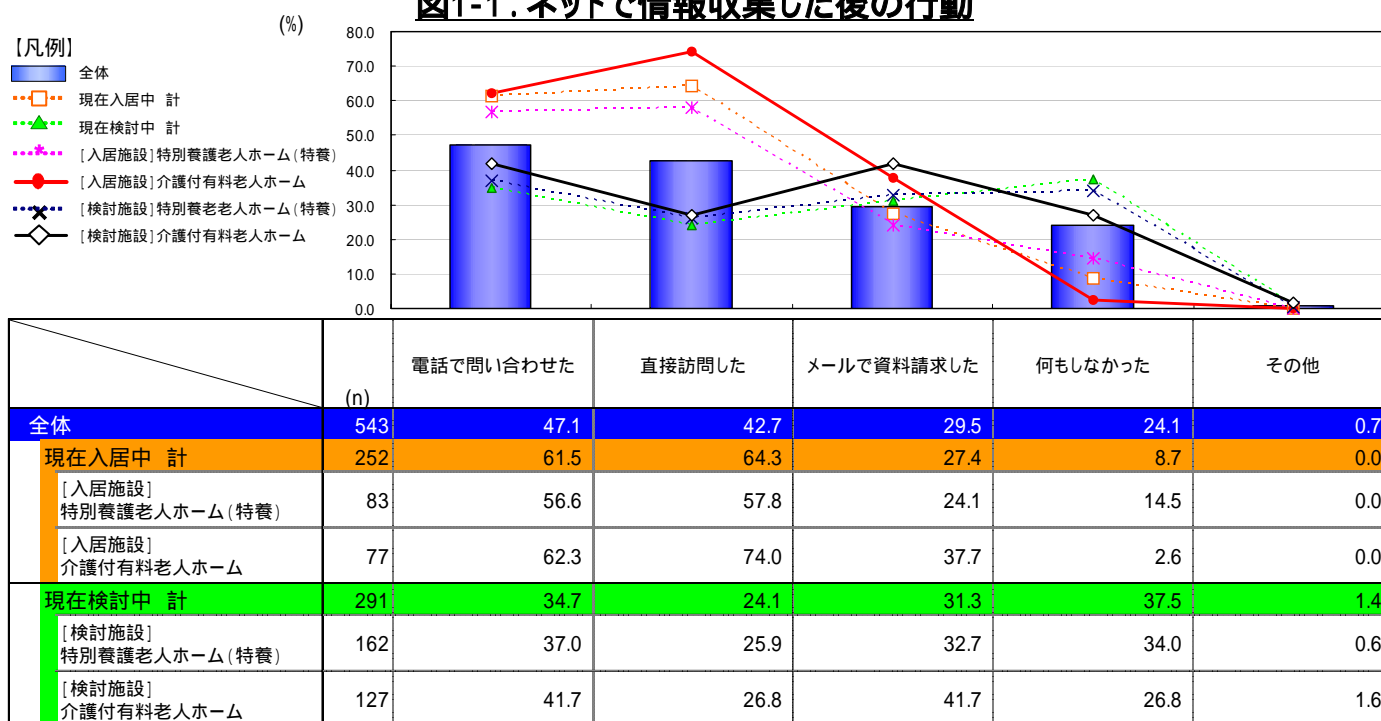
1. 高齢者施設へのアプローチ

ネットで情報収集後、有料老人ホーム入居者は9割以上が施設へ問い合わせ

『高齢者施設探しに関する実態調査(前編)』(2008年10月23日発表)では、施設の認知や情報収集の方法に、ネット(サイト)が活用されていることが分かりました。

では、ネットで情報収集をした後に、“どのような行動”をとっているのでしょうか。(図1-1)

図1-1. ネットで情報収集した後の行動



注1) [検討施設]については、複数回答者を含む 注2) ネットで情報収集した方が集計対象

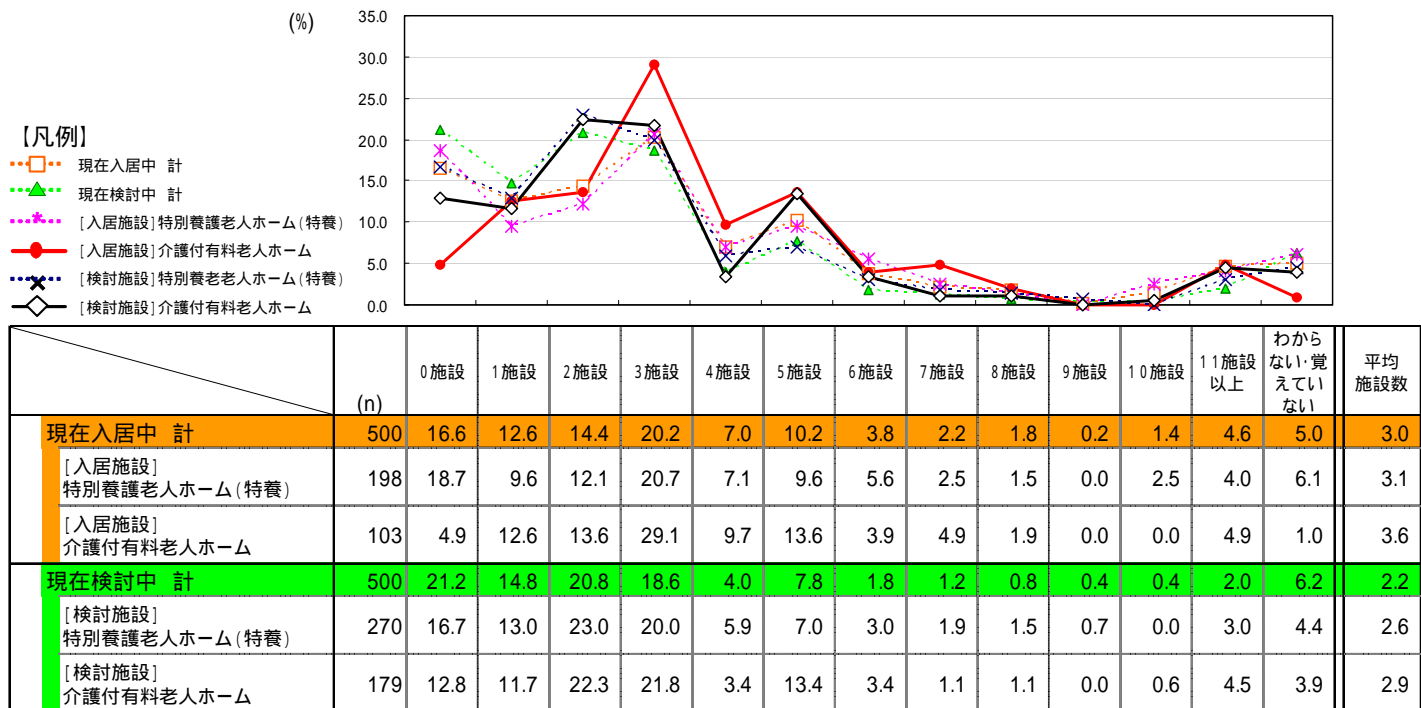
全体では、情報収集した後7割以上の方が高齢者施設に何らかの問い合わせを行っています。現在入居施設を検討している人よりも既に入居している人のほうが必要に迫られてのことか施設へのアプローチは積極的のようで、「何もしなかった」(現在入居中計)という人は1割以下という結果でした。

現在高齢者施設に入居している人の行動については、「直接訪問」「電話での問い合わせ」がメインで、特別養護老人ホーム(以下、<特養>)や介護付有料老人ホーム(以下、<有料老人ホーム>)に入居している人のほうが検討中の人より問い合わせをしている割合は高く、9割以上の方が何らかの行動をしています。

現在入居を検討している人では、問い合わせ方法には大きな差はみられず「電話での問い合わせ」「直接訪問」は現在入居している人に比べ低い一方、「メールで資料請求」がやや高く、<有料老人ホーム>では4割強という結果でした。

入居した施設を決定するまでに、「どれぐらいの施設に資料請求をしたか(ネット以外も含む)」を聞いたところ(図1-2)、8割前後の人が資料請求を実施していました。施設検討中の人に比べ既に入居している人の方が資料請求数はやや多く、＜有料老人ホーム(入居済)＞では9割以上、問い合わせ施設数は3～4施設が最も多い回答となっています。

図1-2. 資料請求施設数

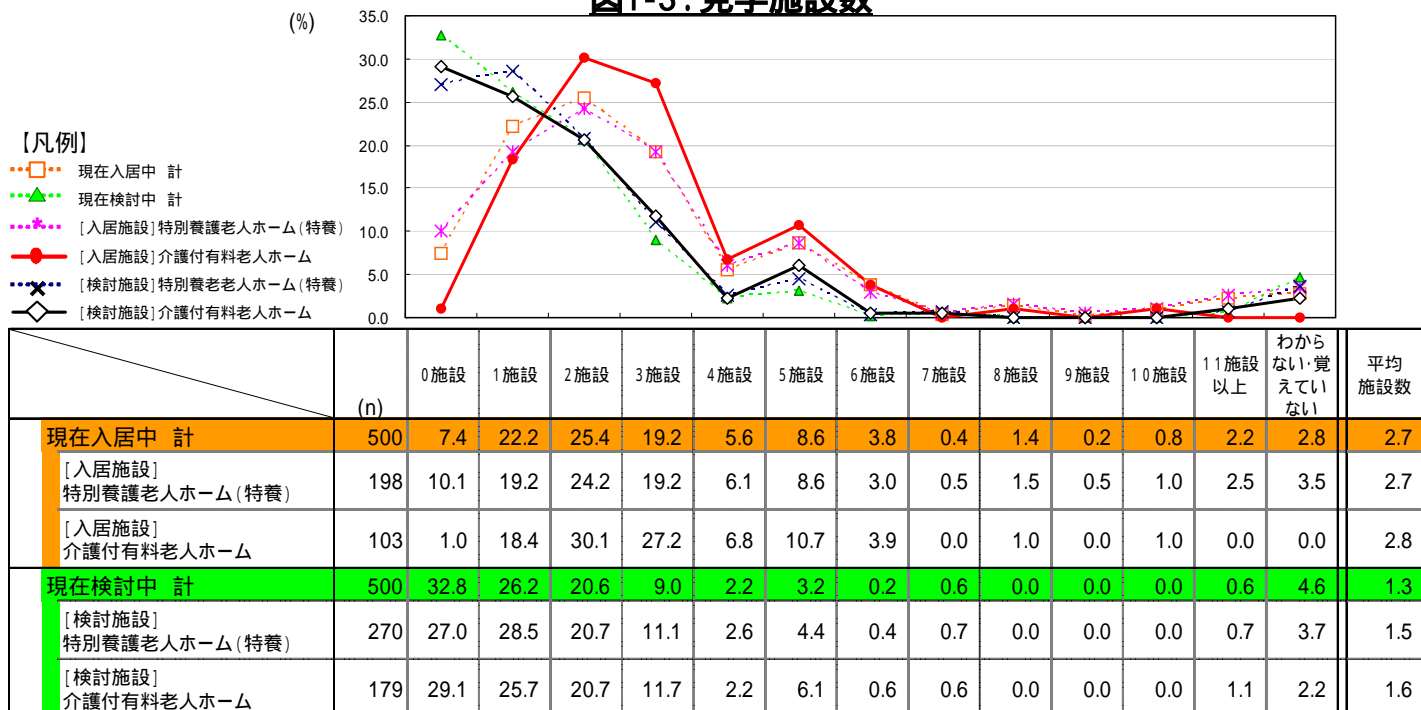


注) [検討施設]については、複数回答者を含む

見学した施設数について聞いたところ(図1-3)、現在入居している人全体では9割以上が施設見学を行っており、平均の見学施設数は2～3施設となっています。また、＜有料老人ホーム(入居済)＞では、見学をしていない(0施設)という人はほとんどみられませんでした。

また、現在検討中の人、入居済みの人と比べると見学施設の数はいくつか少ないものの約7割が施設見学を行っており、資料請求した施設については、実際に目で見て確認している人が多いようです。

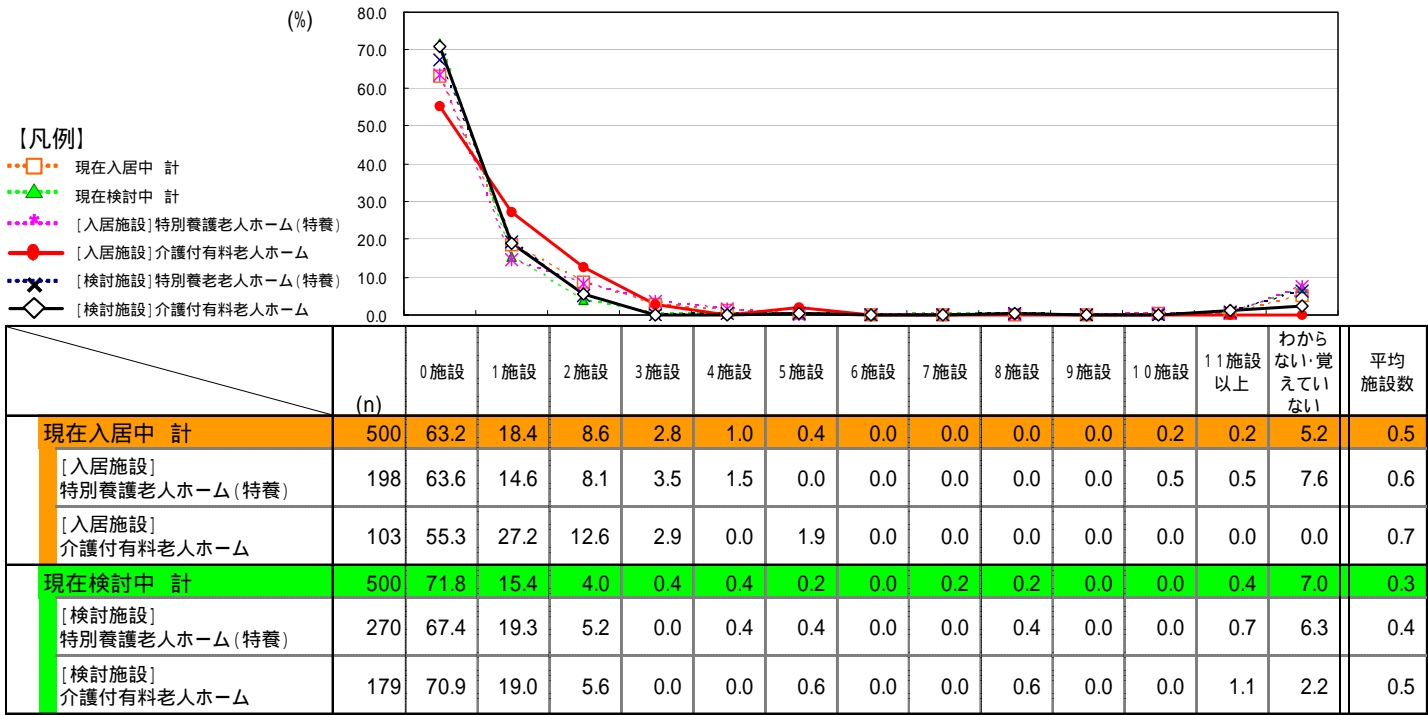
図1-3. 見学施設数



注) [検討施設]については、複数回答者を含む

一方、体験入居した施設数について聞いてみたところ(図1-4)、1施設行くかどうかで、“資料請求”や“施設見学”に比べると“体験入居”の意欲はぐっと低くなっています。 既に入居している人でも、5割以上は体験入居を行わずに施設の決定を行っているのが現状のようです。

図1-4. 体験入居施設数



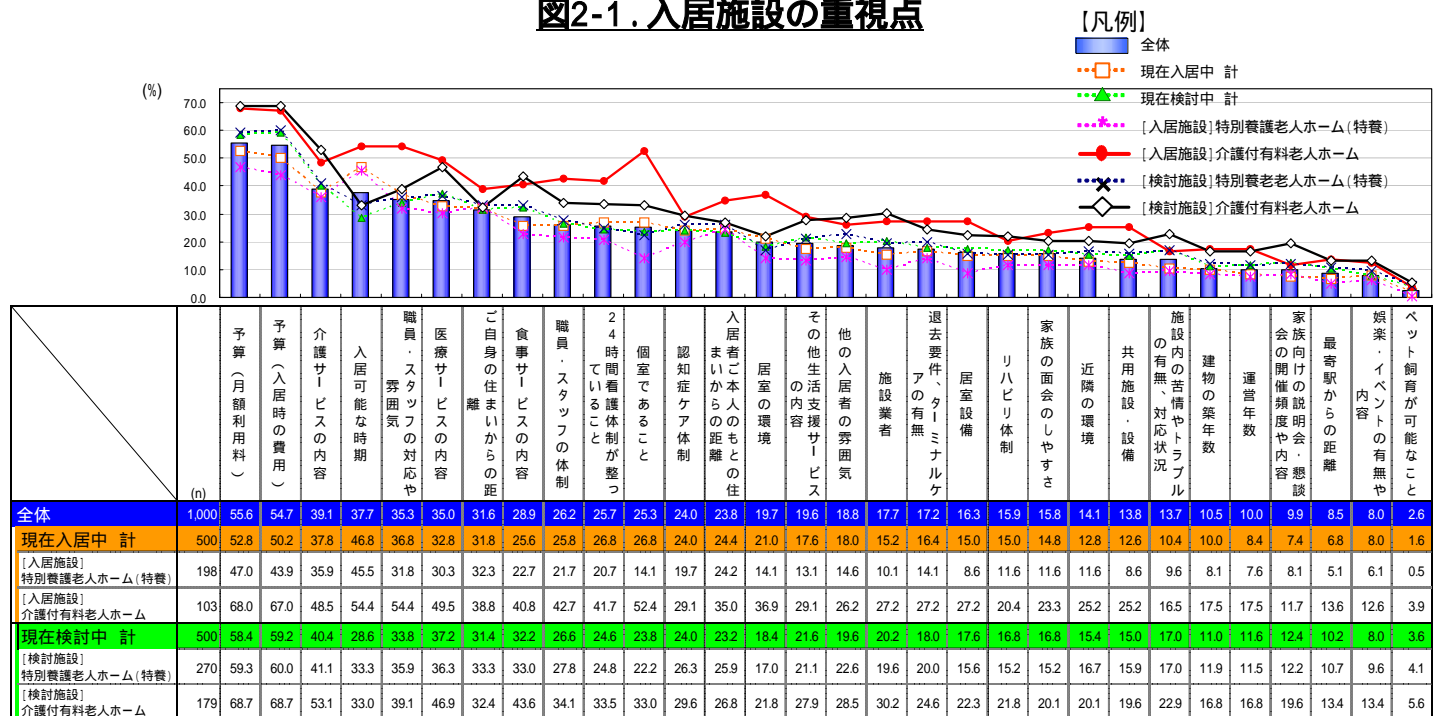
注) [検討施設]については、複数回答者を含む

2. 施設選び重視点と費用

施設選びは“サービス内容”よりもまずは“費用”

高齢者施設に入居する際に“施設のどのような点を重視するか”を聞いたところ(図2-1)、“費用面”を重視しているとの回答が最も多い結果となりました。特に＜有料老人ホーム＞の場合、現在入居している人、検討中の人も7割近くの人が費用面の項目を重視する点としてあげており、予算の見積もりはやはり最も気になる条件のようです。

図2-1. 入居施設の重視点

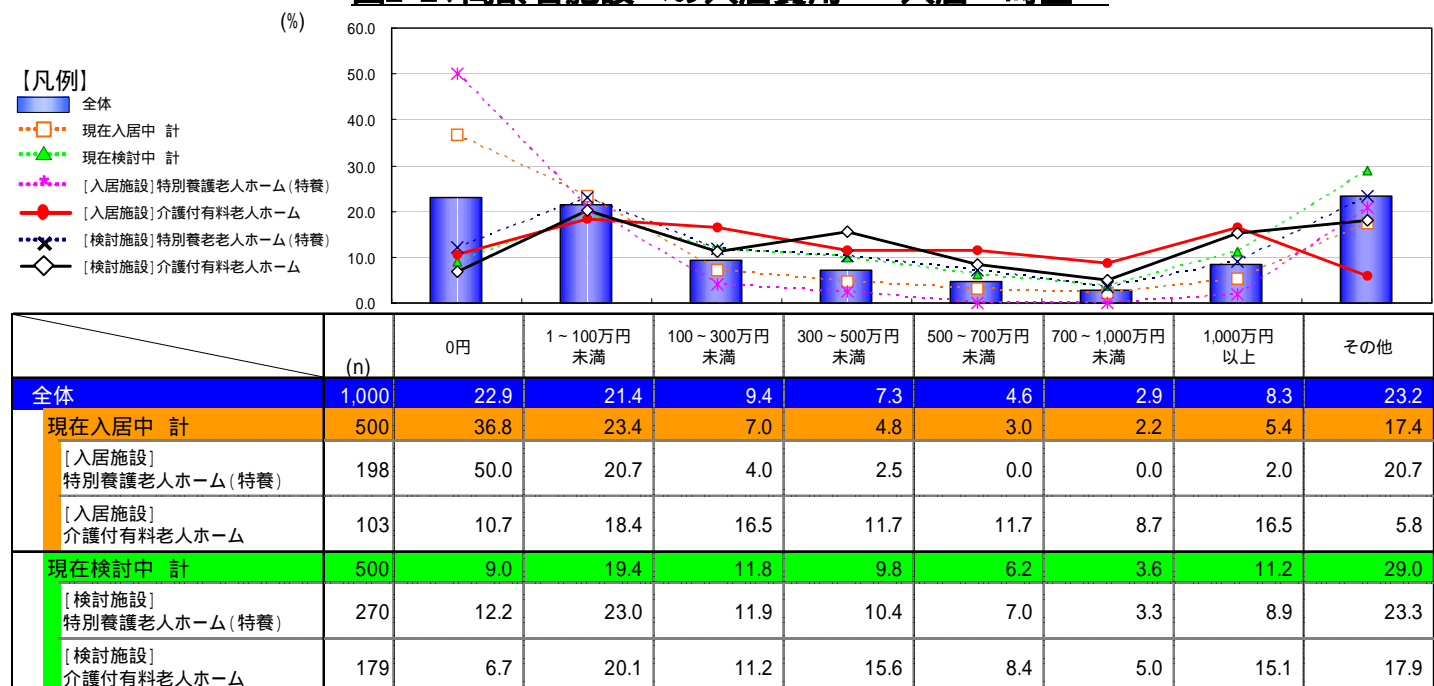


注1) [検討施設]については、複数回答者を含む

[選択肢は、複数回答可]

“入居施設の入居一時金”について聞いたところ(図2-2)、＜有料老人ホーム＞では現在入居中の人と検討中の人の間に大きな差は無く、「入居一時金1～100万円」の回答が最も多いものの、「入居一時金1,000万円以上」も1割を超えるなど、入居一時金の金額幅が広いことがうかがえます。

図2-2. 高齢者施設への入居費用 ～入居一時金～



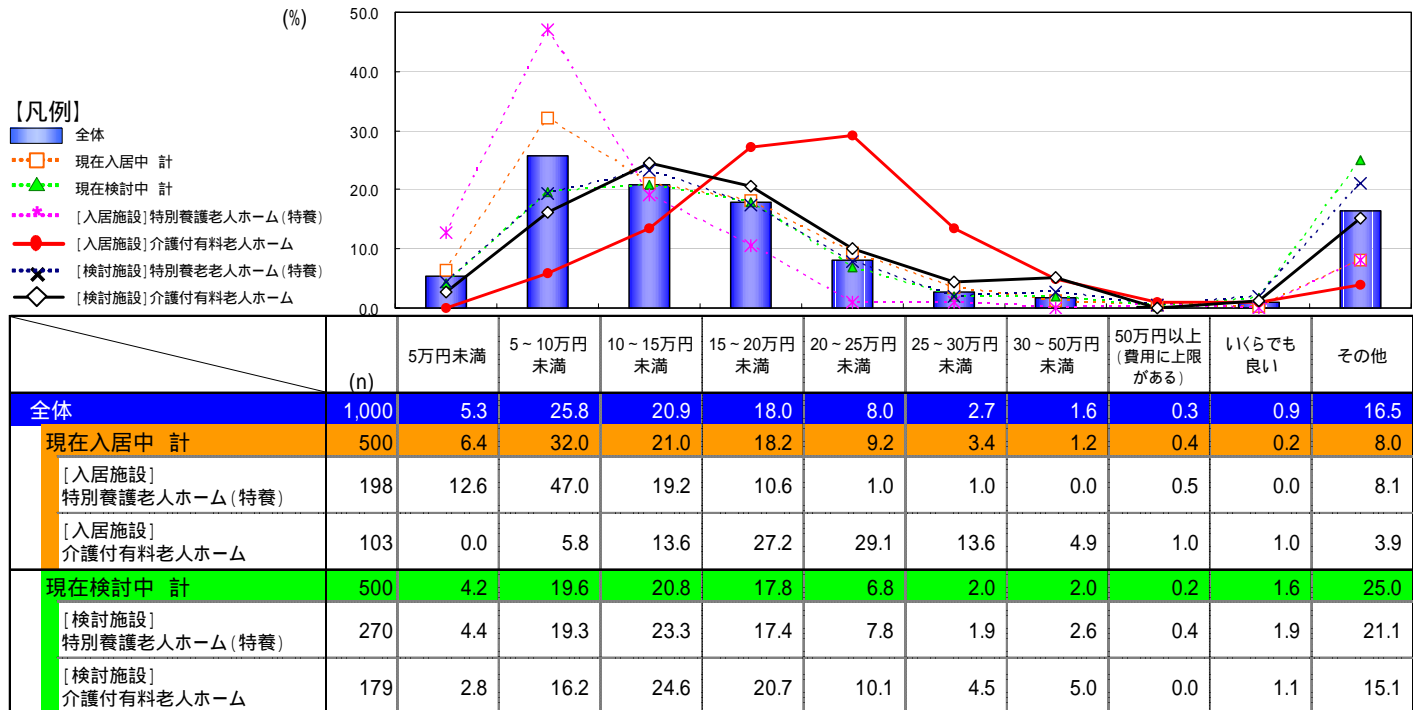
注1) [検討施設]については、複数回答者を含む

注2) 「現在検討中」については、現在検討している金額

注3) 「その他」は、「覚えていない」や「わからない」などの回答

入居一時金につづいて月額費用に関して聞いたところ(図2-3)、＜有料老人ホーム＞に既に入居している人の費用は「15～20万円」「20～25万円」との回答が多いのに対して、検討中の人は「10～15万円」「15～20万円」の回答が多く、費用感として5万円程の差がみられています。

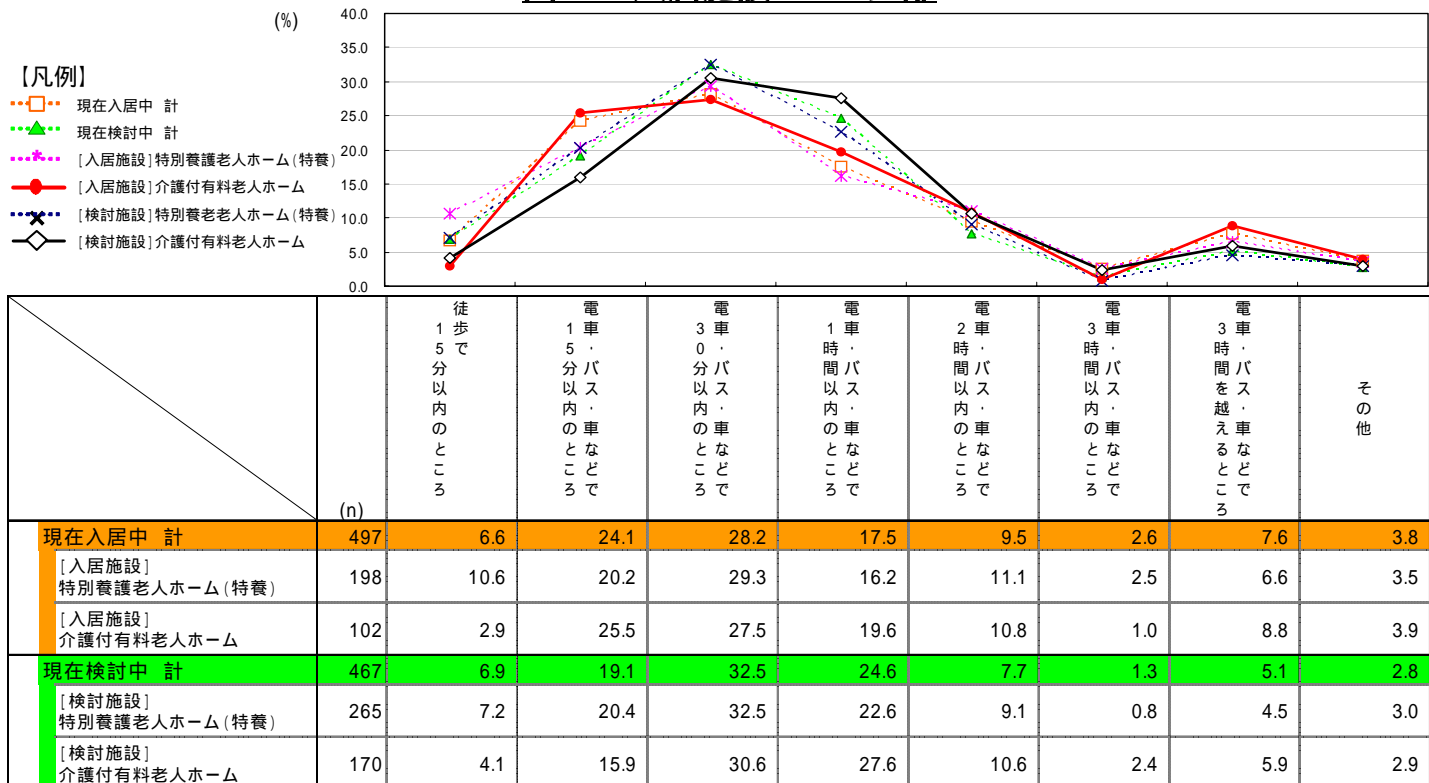
図2-3. 高齢者施設への入居費用 ～月額費用～



注1) [検討施設]については、複数回答者を含む 注2) 「現在検討中」については、現在検討している金額 注3) 「その他」は、「覚えていない」や「わからない」などの回答

アンケート参加の親族回答者に、「高齢者施設と現在のお住まいがどれくらい離れているか」を聞いたところ(図2-4)、7割以上の方が「電車・バス・車などで1時間以内」、うち5割以上の方は「電車・バス・車などで30分以内」と回答しています。また検討している人も同傾向で、多くの人が狭域で利用できる高齢者施設・住宅を探していることがわかります。

図2-4. 入居施設までの距離



注1) [検討施設]については、複数回答者を含む 注2) 「現在検討中」については、現在検討している金額 注3) 「その他」は、「覚えていない」や「わからない」などの回答

社内初 新規事業提案制度から生まれた「HOME'S介護」



株式会社ネクスト
事業戦略室 シニアチーム
澤田 明伸

< 経歴 >

2005年に株式会社ネクストに入社し、クライアントサービスグループ、営業企画グループなどを経験。

社内の新規事業提案制度にて自ら提案した「HOME'S介護」を2008年7月にサイトオープン。

「HOME'S介護」に込めた思い

「HOME'S介護」は、社内の新規事業提案制度から生まれた初の事業化案件です。元々のきっかけは私の個人的な経験からきており、祖母の老人ホームを探す際に、情報不足が原因でとても苦労をしたこと、その不便を改善したいというところからきています。

現在、高齢者向けの施設や住宅を探している人は全国に約50万人以上いると言われており、その数は高齢化の進展と共に当面は拡大傾向が続きます。一方で、新規の施設開設を制限する「総量規制」などの影響により、施設不足は深刻化しており、消費者は限られた選択肢と少ない情報の下での選択を余儀なくされているのが現状です。

このような状況から、施設探しに苦労することは容易に想像できると思いますが、「一人暮らしの老人」、「身内の介護に四苦八苦している家庭」、あるいは「突然介護の必要性が発生した家庭」にとっては想像し難い苦労が伴います。これを「一つの事業として変えていきたい」という思いをネクストという会社が応援してくれました。ネクストには新規事業コンテストという社員であれば誰もが応募できるオープンな制度があり、有志でプロジェクトメンバーを結成し、業務時間外で調査から事業計画策定、プレゼンを経て実際に事業化へ至りました。「介護に疲れ、老人ホーム探しに苦労している人達の助けになりたい」「HOME'S介護」はそんな思いが込められたサイトです。

HOME'S介護サイトURL: <http://kaigo.homes.co.jp/>



【参考(回答者属性)】

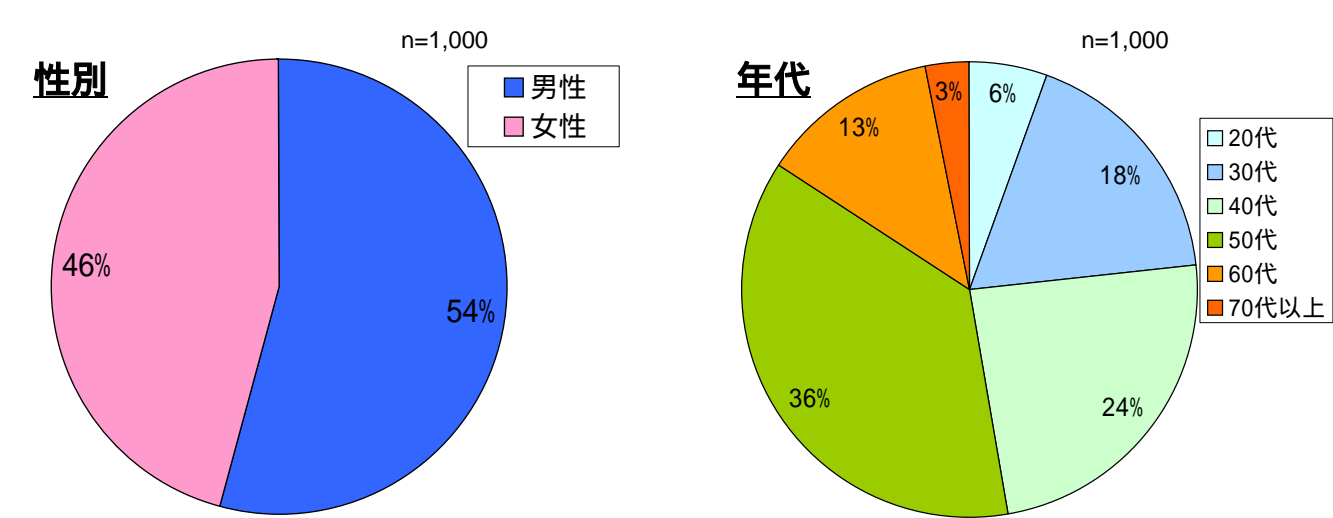
回答者構成

入居済	(n) 500	(%)	検討中	(n) 500	(%)
高齢者施設に回答者本人が入居している	3	0.6	高齢者施設へ回答者本人が入居を検討している	33	6.6
高齢者施設に回答者の親族が入居している (内訳)	497	99.4	高齢者施設へ回答者の親族の入居を検討している (内訳)	467	93.4
配偶者	2	0.4	配偶者	4	0.8
自分の父親	94	18.8	自分の父親	110	22.0
自分の母親	235	47.0	自分の母親	195	39.0
自分の祖父	10	2.0	自分の祖父	22	4.4
自分の祖母	54	10.8	自分の祖母	53	10.6
配偶者の父親	26	5.2	配偶者の父親	25	5.0
配偶者の母親	62	12.4	配偶者の母親	53	10.6
配偶者の祖父	1	0.2	配偶者の祖父	2	0.4
配偶者の祖母	13	2.6	配偶者の祖母	3	0.6

入居施設または入居を検討している施設 * 入居を検討している施設[検討中]は、複数回答

	入居済		検討中	
	(人)	(%)	(人)	(%)
	500		500	
特別養護老人ホーム(特養)	198	39.6	270	54.0
介護老人保健施設(老健)	70	14.0	216	43.2
介護療養型医療施設	26	5.2	138	27.6
介護付有料老人ホーム	103	20.6	179	35.8
住宅型有料老人ホーム	6	1.2	74	14.8
健康型有料老人ホーム	3	0.6	52	10.4
高齢者専用入居賃貸住宅(高専賃)	4	0.8	44	8.8
高齢者向優良賃貸住宅(高優賃)	1	0.2	40	8.0
高齢者円滑入居賃貸住宅(高円賃)	0	0.0	26	5.2
高齢者マンション(分譲型)	1	0.2	53	10.6
シルバーハウジング	0	0.0	17	3.4
グループホーム(認知症対応型共同生活介護)	51	10.2	53	10.6
グループリビング	1	0.2	15	3.0
ケアハウス	17	3.4	48	9.6
その他	19	3.8	81	16.2

【参考(回答者属性)】



回答者の居住エリア

都道府県	計	- 現入居 -	- 検討中 -	都道府県	計	- 現入居 -	- 検討中 -
北海道	35	16	19	滋賀県	5	2	3
青森県	1	1	0	京都府	24	13	11
岩手県	5	3	2	大阪府	90	35	55
宮城県	16	12	4	兵庫県	57	31	26
秋田県	6	0	6	奈良県	7	3	4
山形県	5	3	2	和歌山県	3	1	2
福島県	7	2	5	鳥取県	1	0	1
茨城県	4	1	3	島根県	4	1	3
栃木県	7	3	4	岡山県	16	7	9
群馬県	8	4	4	広島県	11	8	3
埼玉県	79	43	36	山口県	7	5	2
千葉県	72	32	40	徳島県	1	1	0
東京都	212	109	103	香川県	5	3	2
神奈川県	134	69	65	愛媛県	6	1	5
山梨県	2	1	1	高知県	3	0	3
長野県	9	4	5	福岡県	31	14	17
新潟県	9	5	4	佐賀県	1	0	1
富山県	4	2	2	長崎県	5	2	3
石川県	11	7	4	熊本県	5	4	1
福井県	3	0	3	大分県	10	4	6
岐阜県	8	4	4	宮崎県	3	0	3
静岡県	21	14	7	鹿児島県	5	4	1
愛知県	37	22	15	沖縄県	2	1	1
三重県	3	3	0	合 計	1,000	500	500

「HOME'S」とは:

北海道から沖縄まで、全国約100万件の不動産物件情報を検索できる、日本最大級の住宅・不動産情報ポータルサイトです。 楽天市場、infoseek、Nifty、BIGLOBE、OCN、ODN、So-net、Excite、asahi.com、毎日.jp、駅前探険倶楽部、ascii24、オリコン等約30のサイトと提携しています。

< 会社概要 >

社名 : 株式会社ネクスト
証券コード : 2120 東証マザーズ
設立 : 1997年3月12日
代表者 : 代表取締役社長 井上 高志
資本金 : 1,982百万円
所在地 : 〒104-6215 東京都中央区晴海1-8-12
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟 15階
連絡先 : 電話: 03-6204-4040(代) FAX: 03-6204-3963
URL : <http://www.next-group.jp/>
事業内容 : 不動産ポータル事業
・日本最大級の住宅・不動産情報ポータルサイト「HOME'S」の企画・運営
・賃貸物件情報ポータルサイト「HOME'S賃貸」の企画・運営
・売買物件情報ポータルサイト「HOME'S不動産売買」の企画・運営
・新築分譲マンションポータルサイト「HOME'S新築分譲マンション」の企画・運営
・新築分譲マンションポータルサイト「イースマイドットコム」の企画・運営
・新築分譲戸建住宅ポータルサイト「HOME'S新築一戸建て」の企画・運営
・不動産投資ポータルサイト「HOME'S不動産投資」の企画・運営
・不動産オークションサイト「HOME'Sオークション」の企画・運営
・高齢者施設・住宅情報サイト「HOME'S介護」の企画・運営
・「マンション100%」の企画・運営
地域コミュニティ事業
・地域コミュニティサイト「Lococom」の企画・運営
その他事業
・「HOME'S マイルーム保険」の企画・運営
・「HOME'S保険生活」の企画・運営
・「HOME'S引越し見積もり」の企画・運営
・Web広告プロモーション、バナー広告の企画提案

関係会社 : 株式会社ウィルニク、株式会社レンターズ、株式会社ネクストフィナンシャルサービス

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社ネクスト 管理本部 コーポレートコミュニケーション室
広報担当 塚田
TEL: 03-6204-4067 FAX: 03-6204-3963
E-MAIL: press@next-group.jp